

報告事業所名称 (支店等名含む)	宮城 LPG 商店	担当者氏名	LP 太郎
		電話番号	022-XXXX-△△△△

LPG 関係被害状況報告 (第 1 2 3 4 5 報)

2021 年〇月 〇日現在

状況が変わるたびに第1報→第2報→第3報として報告する。

報告書記入にあたっての注意事項

1. 自然災害 (地震、水害、台風、噴火等) による LPG 災害 (被害の有無に問わず報告)、また、震度 5 強以上の地震が発生した場合、若しくは、全国 LPG 協会が要請した場合 (被害の有無に係らず報告)
2. 第 1 報は被害情報の全てが把握できていなくても判明している限りで出来る限り速やかにお願いたします。
3. FAX・メールが使用不能の場合、電話で報告をお願いいたします。
4. 第 1 報後、新たに被害が判明した場合、または前回の報告から数字が変更になった場合は出来る限り速やかに報告をお願いいたします。(同一用紙を使用可・この場合、第 2 報の場合は 1 及び 2 を〇で囲むこととなり、変更した数字を修正してください。)

1. 自社の被害 (被害の有無に〇をつけてください。有りの場合は概要を記載)

項目	被害の有無	概要
A 事業主・従業員の安否	無事 <b>有</b>	(被害の人数や程度) 従業員 1 名と連絡が取れない
B 事務所の被害	無 <b>有</b>	(被害の程度) 事務所が浸水により使用不可。
C 容器置場・充填所	<b>無</b> 有	(被害の程度)
D オートガススタンド	<b>該当なし</b> 無・有	(被害の程度)
E 車両	無 <b>有</b>	(被害の台数や程度) ※車両の用途も記載。パルクローリーの場合は F の欄に記載 浸水により配送車 1 台が走行不可。
F パルクローリー	<b>該当なし</b> 無・有	(被害の台数や程度)

ファイルの落下等は記載不可。

自社所有分のみ記載。  
容器置場を持たない販売店は無に〇

2. 消費先の被害

下記の E、F 以外は概数で

全供給戸数 500 戸の販売店の例

A	災害前の LPG 供給世帯数 (概数記載可) 【A=B+C+D】	500 戸
B	家屋倒壊や、避難等により <b>供給復旧が見込めない世帯数</b> (概数記載可)	10 戸
C	立入禁止等の理由により、 <b>被害状況の確認が出来ない世帯数</b>	20 戸
D	<b>被災無し</b> または供給復帰可能及び復旧済み世帯数 (概数記載可) 【A-(B+C)】	470 戸
Dの内 被害状況と未復旧数	E ガス漏れ、漏えい爆発、漏えい火災のあった件数	8 戸
	F Eのうち、未復旧件数	0 戸
	G Eに該当しないが、メーターや調整器の交換等 (概数記載可)	20 戸
	H Gのうち、未復旧件数	15 戸

被災無し・復旧予定・  
復旧済みの戸数の合計  
(詳細は E~H に記載)

E に該当があれば I も記載すること。

未確認世帯数【C】および未復旧件数【F】及び【H】がゼロになるまで、報告をお願いします。

E は容器の流出によるものはガス漏れに含みません。

I : 【E ガス漏れ・爆発・火災の被害の詳細】 ※ 発生場所 (市区町村名)、発生日時は必ず記入  
仙台市青葉区本町にある共同住宅(8戸)で〇月〇日 15 時 25 分に配管損傷による少量のガス漏れを確認、修理をして現在復旧済み。

発生場所は〇〇市などでも構わないが詳細がわかる場合は記載。  
また、復旧済みか未復旧の旨を記載。復旧したら再度報告書を送付。

3. 容器の流出・埋没 (判明している限りで構いません)

消費先の被害 B の内容を記載。

A: 消費先軒先からの流出・埋没本数	20 本	B: うち、累積回収本数	12 本
C: その他 (充填所・貯蔵施設・容器置場等) からの流出・埋没本数	0 本	D: うち、累積回収本数	0 本